

一般会計支出

前年度と比較して**2.5%の増加**

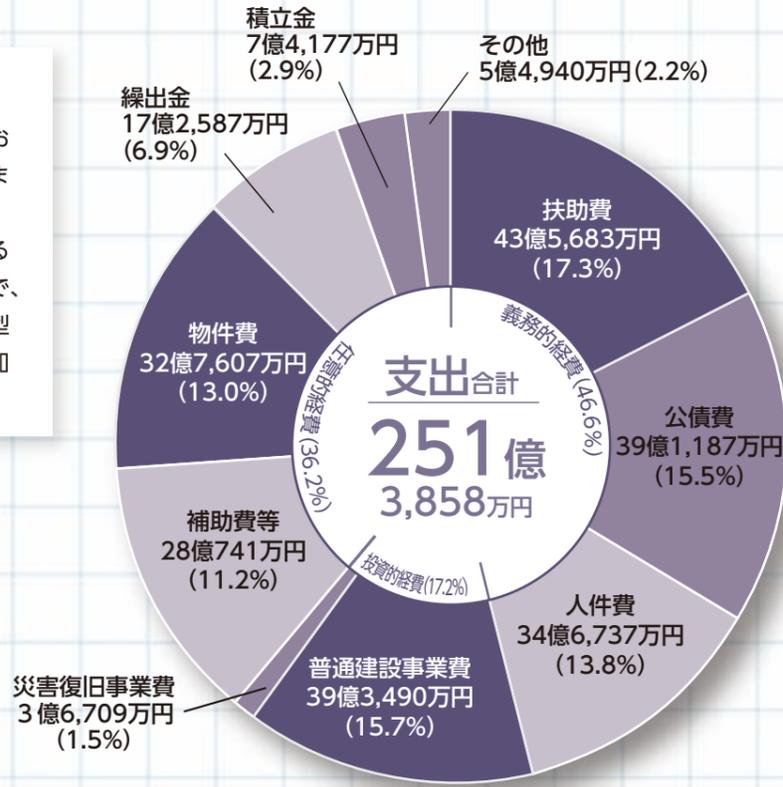
歳出決算額は、251億3,858万円となっており、前年度に比べて2.5%の増加となっています。

性質別で見ると、北松北部環境組合に対する負担金の減額に伴う補助費等が減少した一方で、平戸城や文化センターの大規模改修など、大型建設事業の執行に伴い投資的経費が大きく増加しています。

目的税の使いみち

入湯税	
区分	決算額
鉱泉源の保護管理施設整備	1,353万円
観光施設の整備	284万円
観光振興	1,206万円
都市計画税	
区分	決算額
市債償還(都市計画関係)	3,893万円

支出の内訳グラフ (性質別)



平戸の財政状況

市では、毎年2回「市の財政状況」を公表しています。今回は「令和元年度決算の概要」「令和2年度上半期の執行状況」についてお知らせします。☎企画財政課財政班 内線2344

決算報告

2億9,639万円の黒字

令和元年度の一般会計の決算額は、収入が259億7,175万円、支出が251億3,858万円となり、令和2年度への繰越事業の財源を差し引いた実質収支は2億9,639万円の黒字となりました。

決算の状況 (一般会計)

区分	令和元年度	平成30年度	対前年度増減額
歳入総額	259億7,175万円	252億983万円	7億6,192万円
歳出総額	251億3,858万円	245億2,845万円	6億1,013万円
差引額	8億3,317万円	6億8,139万円	1億5,178万円
翌年度に繰越すべき財源	5億3,678万円	3億9,947万円	1億3,731万円
実質収支	2億9,639万円	2億8,192万円	1,447万円

※万円未満は四捨五入。

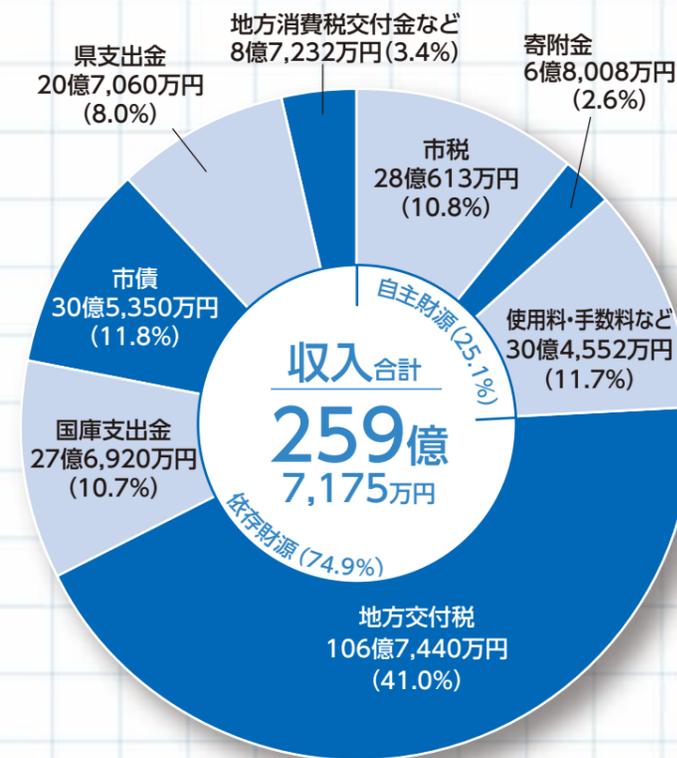
市民1人当たりの支出額

令和元年度に各分野で支出した金額を、市民1人当たりへ換算すると

82万5,380円が使われました
(令和2年3月31日現在の人口30,641人で計算)



収入の内訳グラフ



一般会計収入

市の自主財源は**25.1%**

歳入決算額は、259億7,175万円で、前年度と比較して3.0%の増加となっています。増加の主な要因としては、地方債の繰上償還に伴う減債基金繰入金の増加や、建設事業に係る市債借入額の増額によるものです。

また、このうち市税などの自主財源は全体の25.1%で、地方交付税などの依存財源は74.9%を占めており、国・県などに大きく依存した財政構造となっています。

市税の内訳

区分	金額	増減率
市民税	11億5,375万円	△2.42
固定資産税	12億4,325万円	1.77
軽自動車税	1億2,640万円	4.23
市たばこ税	2億716万円	△1.08
都市計画税	4,715万円	4.55
入湯税	2,843万円	△3.88
合計	28億613万円	△0.12

たからをみせるプロジェクト (観光・文化・シティプロモーション)



平戸城大規模改修事業・・・**2億7,217万円**
 老朽化している平戸城の天守閣、見奏櫓などの改修を行いました。

平戸城宿泊施設整備事業・・・**7,055万円**
 平戸城懐柔櫓を宿泊施設としてリニューアルしました。

くらしをまもるプロジェクト (保健・医療・福祉)



障害児支援事業・・・**1億227万円**
 療養が必要な児童などに対し、通所による発達支援や集団生活への適応訓練を行いました。

高齢者いきいきおでかけ支援事業**1,635万円**
 高齢者の外出機会拡大と社会参加促進のため、交通費の一部を助成する「おでかけ券」を交付しました。

令和元年度に実施した主な事業

令和元年度は、平戸市の主要事業を中心にさまざまな事業を実施しました。その中でも特に重点的に実施した事業を各プロジェクトごとに紹介していきます。

しごとをひろげるプロジェクト(産業・雇用)



鳥獣被害防止総合対策事業・・・**4,919万円**
 有害鳥獣(イノシシなど)による農作物への被害を防止するため、防護柵の設置に対する支援を行いました。

平戸式もうかる農業実現支援事業・・・**3,616万円**
 新規就農者の確保・育成のため、園芸用ハウスや繁殖牛舎の整備に対する支援を行いました。



新水産業経営力強化事業・・・**1,849万円**
 漁業所得向上を目指し、策定した経営改善計画の達成に向けた漁船用機器などの整備に対する支援を行いました。

水産物流通改善対策事業・・・**313万円**
 水産物の流通販売に関する衛生管理指導や、商品価値の向上などへの取組強化を行いました。

その他の事業



生月町中央公民館移転改修事業**2億3,555万円**
 施設の老朽化に伴い、生月支所2・3階を改修し公民館を移転しました。



文化センター大規模改修事業**2億9,957万円**
 施設の老朽化に伴い、平戸文化センターを改修しました。



住宅・社員寮等整備緊急対策支援事業**550万円**
 市内企業の人材確保対策や職住近接の一環として、住宅・社員寮の整備に対する支援を行いました。



特別支援学校分教室開設準備事業**4,827万円**
 令和3年度に予定している県立佐世保特別支援学校北松分校小・中学部の開校に向け、田平中学校校舎の一部を特別教室に改修する工事を行いました。

ひとをそだてるプロジェクト(子育て・教育)



地域子ども、子育て支援事業・・・**7,643万円**
 就労などにより子どもの保育ができない保護者などのため、安心して子育てができる環境整備を行いました。



ICT教育推進整備事業・・・**6,370万円**
 教室以外の場所で活用するため、小中学校のパソコン室に配置しているノートパソコンを可動式のタブレット型パソコンに更新しました。

◎一般会計(収入)

区分	予算現額	収入済額
市 税	27億8,060万円	14億4,978万円
地方贈与税など	10億1,075万円	4億6,329万円
地方交付税	102億2,767万円	68億6,159万円
分担金・負担金	9,273万円	2,422万円
国庫支出金	72億4,038万円	41億4,200万円
県支出金	23億3,045万円	1億6,573万円
寄 附 金	8億40万円	1億431万円
市 債	39億750万円	0円
そ の 他	29億4,217万円	5億5,318万円
収入合計	313億3,265万円	137億6,410万円

◎一般会計(支出)

区分	予算現額	支出済額
総 務 費	92億558万円	42億7,833万円
民 生 費	72億7,814万円	25億6,563万円
衛 生 費	25億1,313万円	11億41万円
農林水産業費	21億4,838万円	3億8,121万円
商 工 費	14億2,773万円	7億6,095万円
土 木 費	15億4,412万円	2億3,451万円
教 育 費	23億2,019万円	7億7,294万円
公 債 費	28億3,692万円	14億1,580万円
そ の 他	20億5,846万円	4億9,402万円
支出合計	313億3,265万円	120億380万円

◎特別会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額
国民健康保険(事業勘定)	47億8,476万円	20億2,122万円	18億7,172万円
国民健康保険(度島直診勘定)	8,222万円	986万円	3,238万円
国民健康保険(大島直診勘定)	2億2,060万円	1,475万円	3,961万円
後期高齢者医療	4億5,385万円	1億4,340万円	1億4,294万円
介護保険(保険事業勘定)	47億8,638万円	18億7,298万円	17億4,500万円
介護保険(サービス事業勘定)	3,656万円	1,162万円	1,520万円
農業集落排水事業	1,228万円	106万円	537万円
宅地開発事業	682万円	417万円	51万円
あづち大島いさりびの里事業	1,262万円	6万円	1,244万円
駐車場事業	470万円	128万円	399万円
工業団地事業	5,000万円	0円	2,543万円

◎企業会計

区分	予算現額	収入済額	支出済額	
水道事業	収益的収支	10億2,674万円	4億4,185万円	2億2,061万円
	資本的収支	7億1,322万円	7,752万円	3億8,065万円
病院事業	収益的収支	23億7,122万円	10億2,026万円	10億2,566万円
	資本的収支	3億5,323万円	4,150万円	2億1,192万円
交通船事業	収益的収支	2億5,556万円	6,807万円	6,825万円

※収益的収支・・・経営活動によって発生するすべての収入と支出
 ※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

◎市債の残高
(市民1人当たり104万8,085円)

※令和2年9月30日現在人口30,398人で計算

区分	残 高
一般会計	246億9,780万円
水道事業	54億4,049万円
病院事業	8億4,838万円
交通船事業	3億5,660万円
国民健康保険(直診勘定)	8,636万円
農業集落排水事業	5,899万円
工業団地事業	3億7,108万円
合 計	318億5,970万円

◎財産の状況

区分	面積・金額
土 地	991万7,102㎡
建 物	25万1,881㎡
有価証券	845万円
基 金	125億3,493万円
債 権	3億8,204万円
出 資 金	6,468万円
出 捐 金	1億14万円

◎一時借入金の状況
令和2年9月30日現在では、一時借入金はありません。

執行状況

令和2年度上半期(4月～9月)
収入および支出の状況
令和2年9月30日現在

企業会計とは

民間企業と同じようにその仕事自体に収益があり、その収益で支出を賄う仕事をまとめた会計です。

企業会計

水道事業			
収益的収支	収 入	11億5,725万円	
	支 出	10億2,229万円	
資本的収支	収 入	3億952万円	
	支 出	6億8,110万円	

病院事業			
収益的収支	収 入	22億4,016万円	
	支 出	22億4,036万円	
資本的収支	収 入	3億6,894万円	
	支 出	4億4,090万円	

交通船事業			
収益的収支	収 入	2億2,683万円	
	支 出	2億4,874万円	
資本的収支	収 入	0円	
	支 出	0円	

※収益的収支・・・経営活動により発生するすべての収入と支出
 ※資本的収支・・・施設の建設改良に関する投資的な収入と支出

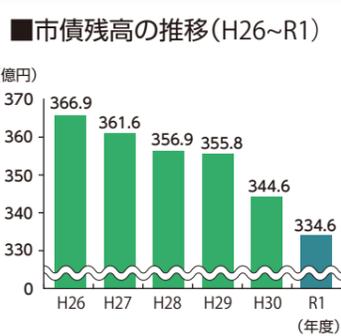
特別会計とは

国民健康保険は国民健康保険税、介護保険は介護保険料など、特定の収入で特定の支出を賄う仕事をまとめた会計です。

特別会計

区分	収 入	支 出
国民健康保険(事業勘定)	47億983万円	46億1,408万円
国民健康保険(度島直診勘定)	7,054万円	7,054万円
国民健康保険(大島直診勘定)	1億930万円	1億930万円
後期高齢者医療	4億3,884万円	4億3,804万円
介護保険(保険事業勘定)	44億3,499万円	42億8,677万円
介護保険(サービス事業勘定)	3,668万円	3,668万円
農業集落排水事業	1,245万円	1,245万円
宅地開発事業	717万円	717万円
あづち大島いさりびの里事業	1,188万円	1,188万円
駐車場事業	504万円	504万円
工業団地事業	2,197万円	2,197万円

市債残高(全会計)



市債残高は約10億円の減少

市の借入金である市債の残高は、継続的な繰上償還の実施により年々減少しています。今後も計画的な繰上償還の実施によりさらなる財政の健全化に努め、将来の公債費負担の軽減を図ります。

健全化判断比率と資金不足比率

すべてにおいて基準内の財政状況

平成19年に制定された「地方公共団体の財政の健全化に関する法律(財政健全化法)」により、毎年、健全化判断比率などを算定し、議会・市民に報告・公表しています。

令和元年度決算に基づく比率(指標)は、前年度と同様にいずれも国の基準(イエローカードとされる早期健全化基準)を下回り、財政状況は、おおむね健全であるといえます。各指標の改善は、平成19年度から実施している借入金(市債)の繰上償還によるところが大きく影響しており、今後も行財政改革の取り組みを継続し、引き続き健全な財政運営に努めます。

健全化判断比率	説 明	令和元年度	平成30年度	国の基準 早期健全化基準(イエローカード)	財政再生基準(レッドカード)
実質赤字比率	一般会計などの赤字から財政運営の深刻度を見る指標	-	-	12.95%	20.00%
連結実質赤字比率	すべての会計の赤字から財政運営の深刻度を見る指標	-	-	17.95%	30.00%
実質公債費比率	借金の返済額の大きさから資金繰りの危険度を見る指標	4.7%	5.7%	25.0%	35.0%
将来負担比率	市が抱える負債の残高から将来の財政への圧迫度を見る指標	-	-	350.0%	-

※比率が生じない場合は「-」と表示しています。

資金不足比率	説 明	対象会計	令和元年度	平成30年度	国の基準 経営健全化基準(イエローカード)
資金不足比率	公営企業の資金不足割合から経営状況の深刻度を見る指標	水道事業・病院事業・交通船事業ほか	-	-	20.00%

※いずれの会計も資金不足が生じていないため「-」と表示しています。

財政指標

平戸市の令和元年度決算を1月当たりの世帯収入が50万円の家計に例えると

ひらどさん家

収入

家計	平戸市	金額
給料	市税 市民の皆さんから納めてもらったお金	54,000円
副収入	寄附金 全国から寄付してもらったお金(ふるさと納税)	13,000円
貯金の取り崩し	繰入金 市の基金から引き出したお金など	27,000円
貸地収入	使用料・手数料など 行政財産や公の施設を使用・利用した際に支払うお金	18,500円
実家からの援助	地方交付税・国庫支出金・県支出金 一定の行政サービスが受けられるよう国から交付されたお金 また、市が実施する特定の事業に、国・県が支出したお金	298,500円
銀行からの借入	市債 市が国や銀行から借りたお金	59,000円
前月からの繰り越しなど	繰越金など 前年度から繰り越されたお金など	30,000円



自主財源に比べて依存財源の割合が大きく、他からの援助に頼っていることがわかるわね。

道路や住宅の建設などでは、ローン(借入金)もしているんだ。これは、何十年も使う施設の建設費用を後の世代の人たちにも負担してもらうという意味もあるんだよ。

家や庭の改修など、臨時の大きな出費の一部は、祖父母からの援助をお願いしているよ。

市の財政について、皆さんに身近に感じていただくために平戸市の令和元年度一般会計決算を家計の1カ月の収支に例えて紹介します。

の家計簿事情

支出

家計	平戸市	金額
食費	人件費 市職員の給料や議員の報酬など	67,000円
医療費・教育費	扶助費 児童手当、障がい者支援、医療費助成など	84,000円
ローンの返済	公債費 市債の返済に充てるお金	75,500円
光熱水費・電化製品の購入など	物件費 光熱水費、消耗品費、旅費など	63,000円
家電の修理など	維持補修費など 道路、公共施設を維持するために必要なお金	10,000円
地区会費・生命保険など	補助費等 各種団体への負担金、補助金、交付金など	54,000円
貯蓄	積立金 将来のために積み立てたお金	14,500円
子どもへの仕送り	繰出金 病院、水道事業など他の会計への繰り出し金	33,000円
家のリフォーム	普通建設事業費 道路、庁舎などの公共施設の増設、改修費用	76,000円
台風被害にあった屋根の修理	災害復旧事業費 災害により被災した施設の復旧費用	7,000円

これからは医療費は増えそうだから、食費や光熱水費などで切りつめていかないかね。

ローンの返済を計画的に行いながら、家計を維持していくのは大変だよ。

今後は家のリフォームが増えそうだから、貯金を減らさないようにしないとね。

翌月への繰り越し 16,000円

